



正名字住民との記念撮影

ロンドンオリンピック
London2012

金メダリスト

村田諒太氏が来町

高校時代の恩師、武元前川氏（故人、正名字出身）の墓参りに

生徒からは「ざつくばらんな質問も生徒「コーヒーは無糖ですか微糖ですか？」村田氏「微糖です（笑）」



18日に知名中学校で町内の中学生を対象に、スポーツ講演会が開催され、村田氏は、武元氏とのエピソードを披露したり、田皆中、知名中の生徒16名からの質問に答えたりしました。生徒からの質問では、「ボクシングをやったことがあったことは？」「試合のときに心掛けていることは？」について聞かれ、村田氏はそれぞれ「金メダルを取ったこと（より）いろいろな出会いがあったこと。その中で一番よかったのは、武元先生に出会えたこと。」「勝ち負けよりも試合の内容について考え、勝った



3名の生徒がミット打ちに挑戦

めにはどうしたらいいか考えている。」と答えていました。また講演会では、村田氏を相手にしたミット打ちや記念撮影も行われ、最後に生徒を代表して知名中2年の山本響さんが「講演会をしていただきとてもうれしかったです。今日、話してくれたことをこれからの生活に生かしていきます。ケガに気をつけてがんばってください。」と、エールを送りました。



のほか、知名中学校やあしびの郷・ちなな計4か所で講演を行いました。村田氏は今回の来町に際し「武元先生は、厳しかったが、自分に愛情を注いでくれた。尊敬する先生の育ったところに来てよかった。今度は家族と来たい。」と話していました。

ロンドンオリンピックのボクシング・ミドル級で、東京オリンピック以来、48年ぶりに金メダルを獲得した村田諒太氏が、2月17～19日に来町しました。高校（南京都学園）時代のボクシングの恩師である、武元前川氏（故人）の墓参りを目的に知名町を訪れた村田氏は、滞在中、武元氏の実家で親族との懇親会や正名字の住民との交流会

武元前川氏の遺影を抱く村田諒太氏（2/18 町長室）



「努力しても報われるかはわからない。

でも、努力しなければ報われない。」

村田氏と武元氏とのエピソード

（今回の講演会の中から）

・高校の部活動紹介で、新入生を殴り倒したとき、武元先生は怒ることなく、

「お前がひとを殴るということはそういうことだ。そういう力がお前にはある。だから決して、そういうことに拳を使うな。」後に村田氏は、このとき先生が自分の可能性を伸ばそうとしてくれていたんだということに気づいたそうです。

・夢に先生が…

「ロンドンオリンピックの組み合わせ抽選のくじ引きの2日前に、夢に武元先生がでてきた。先生が自分のことを心配してくれて近くにきてくれたんだと思い、その瞬間から自信が出てきた。」

「人間誰でも才能がある。自分でもしっかりそういう考えを持って、誇りを持って（将来に向かって）進んでほしい。」

（知名中学校での講演会より）

